

ドリーム通信

2017年
11月17日発行
第87号
山形県スポーツタレント
発掘事業実行委員会

適性競技選択 そして挑戦！！ ～修了生のインターハイ・国体の活躍から学ぶ～

今年度、ドリームキッズ生と修了生の中から、山形県を中心に南東北3県で開催された「全国高校総体」と愛媛県で開催された「国民体育大会」において、カヌー競技とボート競技で優勝、ライフル射撃競技、陸上競技で入賞等、大舞台ですばらしい活躍が見られました。活躍した5名から、競技選択時のことや日々の活動、目標や思い等を寄せていただきました。ドリームキッズの先輩や仲間のこれまでの取り組みから学び、今後の競技生活に活かしていきたいものです。

とだふゆと 戸田風優人（1期生）国体「カヌー競技」少年男子 200m カヤックフォア優勝

私は小、中とバスケットボールをしてきました。高校では、競技種目転向ということで、カヌースプリントという競技に出会うことができました。種目転向の決め手になったのは、新しいことにチャレンジしたいという気持ちでした。1番怖いのは失敗することではなく、挑戦しないことです。様々なことに挑戦し、新しい自分を見つけてください。高校3年間で、特に学んだことは、目標から逆算することです。逆算することで、いい準備ができます。時間を大切に、同じアスリートとしてお互いに、いい準備を心がけましょう！今後の目標は、インカレでの優勝です。課題を一つひとつ克服していきながら、夢に向かって日々精進していきたいと思います。



ながい けいた 永井 桂大（1期生）国体「陸上競技」少年男子 A 400mH 第8位入賞

父に連れられ3才頃前から陸上競技に携わり、いつしか父が叶えられなかったIH（インターハイ）出場が、僕の目標となっていました。DK（ドリームキッズ）に応募したのもその目標を叶えるためでした。そして、DKでの活動や適性結果が僕の目標を確かなこととしました。リレーメンバーで初出場した高2のIH。メンバーがバトンで繋がるスタートを任された緊張感、4人がミスなくゴールした時の感動。その時、来年は個人種目で必ず山形IH出場と強く思ったことが僕の意識変化となりました。



朝練とグラウンド整備に始まり、放課後は残って練習、コーチの意見を素直に聞くよう心がけました。そして迎えた今シーズン、県、東北大会、IH、国体と大きな大会になるにつれ、強化練習など時間や行動が厳しくなり辛い時もありましたが、支え応援して下さる方々の想いが救いとなり感謝が募りました。僕が走ることが出来るのも、家族をはじめ、沢山の方々のお力添えが有ってこそと実感しています。その想いに結果で応えられる様、今後も頑張っていきます。

すずき れな 鈴木 侖奈（2期生）国体「ボート競技」少年女子 1000m シングルスカル優勝

三度目の全国大会でやっと取ることができたタイトル。楽しめたからこそ手にすることができたと感じています。決勝レースの前に「緊張を楽しめ」という先生の言葉が頭をよぎり、すっと肩の力が抜けたのを覚えています。オリンピック選手が競技終了後に「楽しかった」と言っていた気持ちがほんの少しわかったような気がしてうれしかったです。思うように成績が伸びず環境をかえて山形を出ようと考えたこともありました。その時は、ドリーム



キッズの先生方と何度も話し合いを持ち、私にとって何が大事なのかを一緒になって考えてくださいました。その結果が今回の成績につながったのは間違いありません。「意志あるところに道あり」私はこの言葉を胸に、東京オリンピックを目指します。



おかだ ゆう 岡田 悠（3期生）全国高校総体「陸上競技」女子 4×100mR 第6位入賞

私は小学4年生の時に地区記録会の60mで1位になったことをきっかけに陸上競技を始め、6年生の時には全国大会にも出場することができました。地元の中学校には陸上部がなかったので、隣の市の中学校へ入学することを決意し競技を続け、周りの方々の支えもあり全国の決勝の舞台を経験しました。今年、山形中央高校に入り県内トップレベルの環境で練習ができ、地元開催のインターハイでは全国のライバル達と競い合い、4継で6位の表彰台に立つことができました。しかし、その後は調子が上がらず怪我も重なり、練習も積めず、愛媛国体の100mでは、得意にしているスタートから走りの流れがつかめないうまま、悔しい思いをしました。同じことを繰り返さないように、生活と練習、自分の弱い部分と向き合って、これからの大事なシーズンオフの時期を過ごしていきます。そして来シーズンは必ず全国の決勝の舞台に戻りたいと思います。



さとう りん 佐藤 琳（4期生）国体「ライフル射撃競技」少年女子ビームピストル第5位入賞

私はトライアウトで競技団体の方に声をかけていただきライフル射撃を始めました。現在JOCエリートアカデミーに入校し「考える」ことを大切に射撃をしています。考えて競技をすることは、問題があったときに自分を助けてくれます。先日の福井プレ国体の決勝でピストルの照門が壊れるというアクシデントに見舞われましたが、自分の撃ち方のルーティンは変わらないので落ち着いて臨み優勝することができました。どんな時も自分のプレーが出来るように、日頃からコーチに言われたことや情報を鵜呑みにせず、よく噛み砕いて試して判断することが大切です。自己分析をして自分自身をよく知ることは目標や課題を見失わないためにも必要です。これからは、国際大会でも勝てるように常に考えて進化し挑戦し続けていきたいです。



一問合わせ先
山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会事務局
990-2412 山形市松山二丁目11番30号
TEL:023-615-6415 FAX:023-615-7933
ホームページ: <http://y-dreamkids.jp/>